

(図-1) 土壌調査地点について



凡例		地点数	調査箇所	調査場所
●	土壌調査(土壌採取)	6地点	自然由来 A、B、C、D、F、H	福島区：海老江8丁目、 北区：大淀北2丁目、大淀北1丁目、 豊崎7丁目、豊崎6丁目地内
		2地点	人為由来 D、G	
○	土壌調査(ガス採取)	1地点	人為由来 E	北区：中津4丁目

表1-1 ①自然由来汚染調査 土壌溶出量分析結果

調査地点	分析深度 GL(m)	分析項目 (単位:mg/l)					
		セレン及びその化合物	鉛及びその化合物	ひ素及びその化合物	ふっ素及びその化合物	ほう素及びその化合物	
A	-9.0	ND	ND	0.045	0.7	0.57	
	-10.0	0.004	0.005	0.075	1.1	0.90	
B	-10.0	0.002	0.005	0.026	0.9	1.0	
	-8.0	ND	ND	0.011	1.2	2.1	
C	C-1	-9.0	0.002	ND	0.029	0.8	0.79
		-10.0	ND	ND	0.053	0.5	0.85
	C-2	-9.0	0.002	ND	0.028	1.1	1.0
		-10.0	ND	0.007	0.046	0.7	0.70
D	-6.0	0.002	ND	0.039	0.9	0.73	
	-7.0	0.002	0.006	0.060	0.8	0.84	
	-8.0	0.002	ND	0.10	1.2	1.0	
	-9.0	ND	ND	0.053	1.4	1.1	
F	-10.0	ND	0.006	0.024	1.4	0.92	
	-6.0	ND	ND	0.006	0.2	0.14	
	-7.0	ND	ND	0.038	0.5	0.26	
	-8.0	ND	ND	0.067	0.9	0.51	
H	-9.0	ND	ND	0.044	0.8	0.53	
	-10.0	ND	ND	0.031	1.0	0.60	
	-8.0	ND	ND	0.026	0.4	0.27	
H	-9.0	ND	ND	0.029	0.7	0.43	
	-10.0	ND	ND	0.028	0.9	0.67	
	-8.0	ND	ND	0.028	0.9	0.67	
定量下限値		0.002	0.005	0.005	0.1	0.01	
土壌溶出量基準		0.01以下	0.01以下	0.01以下	0.8以下	1以下	

備考：NDとは定量下限値未満を示す。
 は、基準値超過を示す。

出典：大阪市ホームページ